

令和5年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(山北地区)

開催日時	令和5年10月20日(金)午後7時00分から午後9時10分
場所	生涯学習センター
町民参加者	23人
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画総務課長、地域防災課長、保険健康課長、商工観光課長、上下水道課長、生涯学習課長、事務局3人

出席者からの主な意見や提案

<テーマ：洒水の滝などへの観光客誘致促進>

○山北町は、豊かな自然や温泉、河村城跡などの歴史文化財といった観光資源に恵まれており、首都圏にあるという地の利も持っている。京都など一部の観光地を除き、全国でも地盤沈下が進んでいる中でいかに観光資源を活かして活性化させるかが課題であると考えている。

○洒水の滝について、昨年度遊歩道が完成したが、町としては、新たに観光客を増やすための取り組みを検討しているのか。また、大型駐車場について、滝までの距離があるなどの課題があると思うが、その他にも町の観光客誘致のための課題やそれに対する改善策を伺いたい。

○河村城址歴史公園について、整備が進んだが大きな広場が雑草などで荒れているのが現状である。例えば松田町では桜やネモフィラ、コキアなどといった花を生かした観光の推進を図っているようだが、河村城址歴史公園への観光客誘致のための新たな取り組みを現在検討しているのか。

○観光客を増やすことができたとしても、観光客に消費してもらわないと経済効果がないと継続性が失われると思われるがどのように考えているか。

○洒水の滝の周辺整備については、遊歩道や公衆トイレ、侵入防止柵の設置など少しずつ整備していただいております。観光客が少しずつ増えているように感じています。このような中、洒水の滝祭り保存会と観光協会との間でトラブルがあり、今年の夏に洒水の滝祭りがあったが予算がつかなかった。町は直接関係ないと思うがこのことについてどのように考えているか。また、以前から自治会要望等で要望しているが、県道沿いの大型駐車場から洒水の滝に向かう際、近くに横断歩道がない。過去の回答では、警察から条件を満たさないことから設置できないという回答であったが、最近では交通量も増えスピードを出す車も非常に多いことから、何らかの対策をお願いしたい。

○山北町の観光地は知られていないものが多く、内容的には小中学校の修学旅行先にしてもいい場所などもあると思う。そこで、近隣の小中学校に修学旅行にきてもらえるよう営業してみてもどうか。また、山北には素晴らしい伝統芸能がいくつもある、もし修学旅行にきてくれる学校があれば、児童生徒にそれを披露するのはどうか。

○山北駅の桜並木について現状は非常に綺麗に咲いているが、桜の木には寿命があるので将来を考え、維持していくための対応を早くすべきだと思う。JR との折衝も含めてお願いしたい。

○山北町には日本酒や豆腐などの名物があるが、財政を潤すためにふるさと納税のための名物を開発してはどうか。

〈テーマ：その他〉

○農協や商工会と連携して、移動スーパーを導入していただきたい。特に共和、清水、三保地区などは店がないことから必要であると思う。導入してもらえれば買い物難民が減ると思う。また、交通の便をよくするためのアイデアを考えているが、いいアイデアが浮かばない。町も考えていただいて、いいアイデアがあれば実行してもらえればと思う。

○洒水の滝などに大型バスで観光に来ても大人数で食事ができる場所が一つもない。スマートインターチェンジが整備される予定になっているが、周辺整備の中にレストランなどを作る構想があるのかお聞きしたい。以前から座談会に出席しているが、若い世代の出席がないように思う。若い世代の意見を聞くための取り組みを何か検討しているか。先日の山北のお峰入りの際の駅周辺の賑わいをみて感じたが、イベントの効果というのはいすごいと感じる。旧山北体育館の代替体育施設に武道場がつくられる予定だが、町民だけでなく駐車スペースを確保して、郡や県の大会を開催できるような施設にしてはどうか。

○昨年の5月28日付けのタウンニュースで、町長の後援会の記事で「森の活用を子どもたちと山北町で進むCFO制度」という内容が掲載されていた。CFOというのは「Children Forest Officer」の略となっており、これは山北町で登録した商標ではなく、町長が個人として取得した商標であるが、今後このCFO制度をどのように進めていく予定なのか伺いたい。山北町の面積の9割が森林で、この森林資源を活用していくのは町にとって大きなテーマの1つであるがどのように考えているか。また、ふるさと納税事業に関して随意契約を締結した案件について、住民監査請求の結果、法令順守ができていないということで、町は契約を解除したがその時の町長のコメントの中に随意契約は適切だったという内容が載せられていたが、契約は適切だったという考えということでよいのか。

○町の交通網について、国道 246 号線の渋滞が問題であると考えている。今後スマートインターチェンジが開通した場合に今より交通量が増える可能性があるということで、今後の道路行政が大事になってくる。国道 246 号線の 4 車線化という話があったかと思うが、国土交通省に実際打診したのか、話が進んでいるのかを伺いたい。また、丹沢湖から相模原、寄または山中湖への 3 方向へ抜ける道について、優先順位を決めていくということだったが、どうなったのか。また以前道志に抜ける道の話もあったが、それについてはどう考えているのか。

○山北駅の桜の木の植え替えができないため、長持ちさせたいという話があったが、現実としてクズに覆われてしまっているような木が多くあり、数年で枯れてしまうという懸念もあるが、クズの処理などはどこが対応するのか。山北町も高齢化が進んでおり、ごみ出しに苦勞している方もいるのではないかと思う。他市町を見ると、お金を出せばごみ出しのサービスをしている所も聞いているので、検討していただきたい。先日開催された山北のお峰入りは大成功だったと思う。その際に町の観光施設や食べ物とかの案内を配布して情報発信すれば良かったと思う。今後、大きなイベントを開催する際に町の情報を発信していただきたい。

○自治会において高齢化が進んでいるということもあり、正副自治会長などの役員のなり手がなくどこの自治会も困っていると考えている。また、民生委員については、民生委員としての仕事も大変であるが、あて職も多い。自治会長も同様に自治会の仕事以外にも駆り出されているというのが現状である。そこで、自治会長や一部の役員には町から手当が出ているが、それ以外の役員にも手当を出してもらいたい。町内には自治会が 50 以上あるが、町から自治会を統合しろと言うのは難しいと思うが、役員のなり手不足の解消のために地域から統合したいという声があれば進めていただければと思う。

○町の広報等の配付物について、自治会に加入している人は自治会をとおして配付されているが、自治会に加入していない人については、どのような対応をとっているのか。ポストで広報を配付している市町村もある。町民に情報を提供すること、情報格差をなくすことが今の時代重要であるので、しっかり取り組んでもらいたい。